

想定し得る最大規模降雨の洪水浸水想定区域の指定について

令和5年6月15日
仙台市水防協議会
宮城県土木部河川課

1. 社会的要請・背景

●近年の水災害の激甚化

これまで、大河川である洪水予報河川や水位周知河川について、「想定し得る最大規模の降雨」に対応した洪水浸水想定区域の指定対象とし、避難経路の確保やハザードマップ作成等の避難計画措置を講じているところです。

一方、令和元年東日本台風等の近年の水害では、**洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川（その他河川）**において、河川はん濫等による人的被害が発生しました。

このような状況を踏まえ、令和3年7月の水防法改正により、洪水予報河川・水位周知河川に加え洪水による災害の発生を警戒すべき**住宅等の防護対象のある河川（その他河川）**が、洪水浸水想定区域の指定対象に追加されました。

2. 市町村におけるハザードマップの作成について（水防法第15条第3項）

●洪水ハザードマップの作成について

浸水想定区域をその区域に含む市町村の長は、**想定最大規模における洪水を対象とし**、洪水浸水想定区域図に洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載した**洪水ハザードマップ**を作成が定められており、印刷物の配布やインターネット等により、住民の方々に周知することが定められています。

3. これまでの指定状況について（宮城県）

●洪水浸水想定区域指定の状況と今後の予定について

指定対象となる河川は、県管理河川325河川のうち282河川であり、**今年度は、28河川を追加指定し140河川**となります。今年度も浸水想定区域図の作成を行い、令和6年度はさらに28河川の指定を予定しています。

また、**令和7年度までに、住宅等の防護対象のある河川全て（282河川）で指定予定**としており、水害リスク情報空白地の解消を図ります。

4. 今年度の指定状況について

●令和5年度告示指定河川（仙台市内）

今年度は、昨年度解析を行った
二級河川七北田川水系

藤川

一級河川名取川水系

笹川、後田川、木流堀川

の4河川について告示指定を行い、

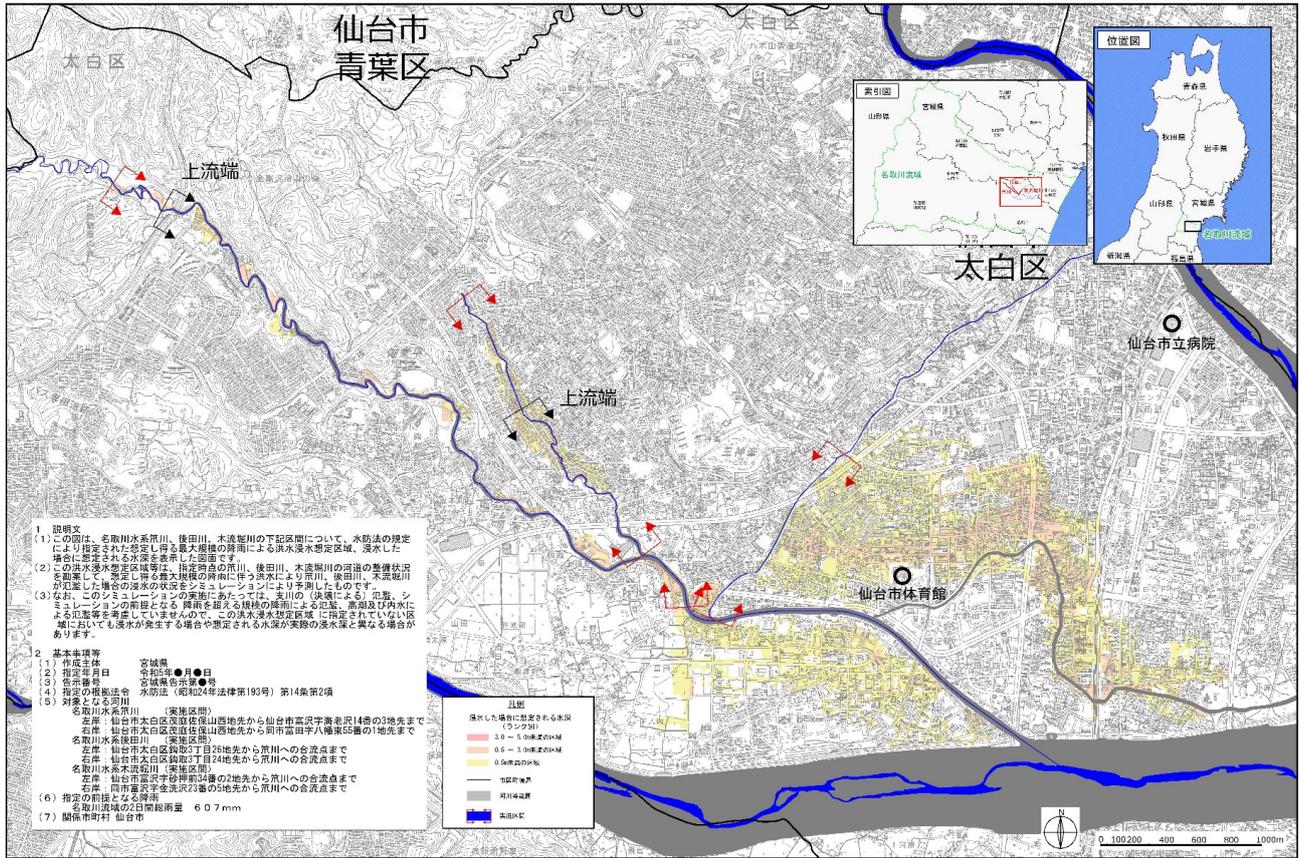
- ・ 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図
- ・ 計画規模降雨による浸水想定区域図
- ・ 想定最大規模降雨による浸水継続時間
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）

の5図面を公表しました。

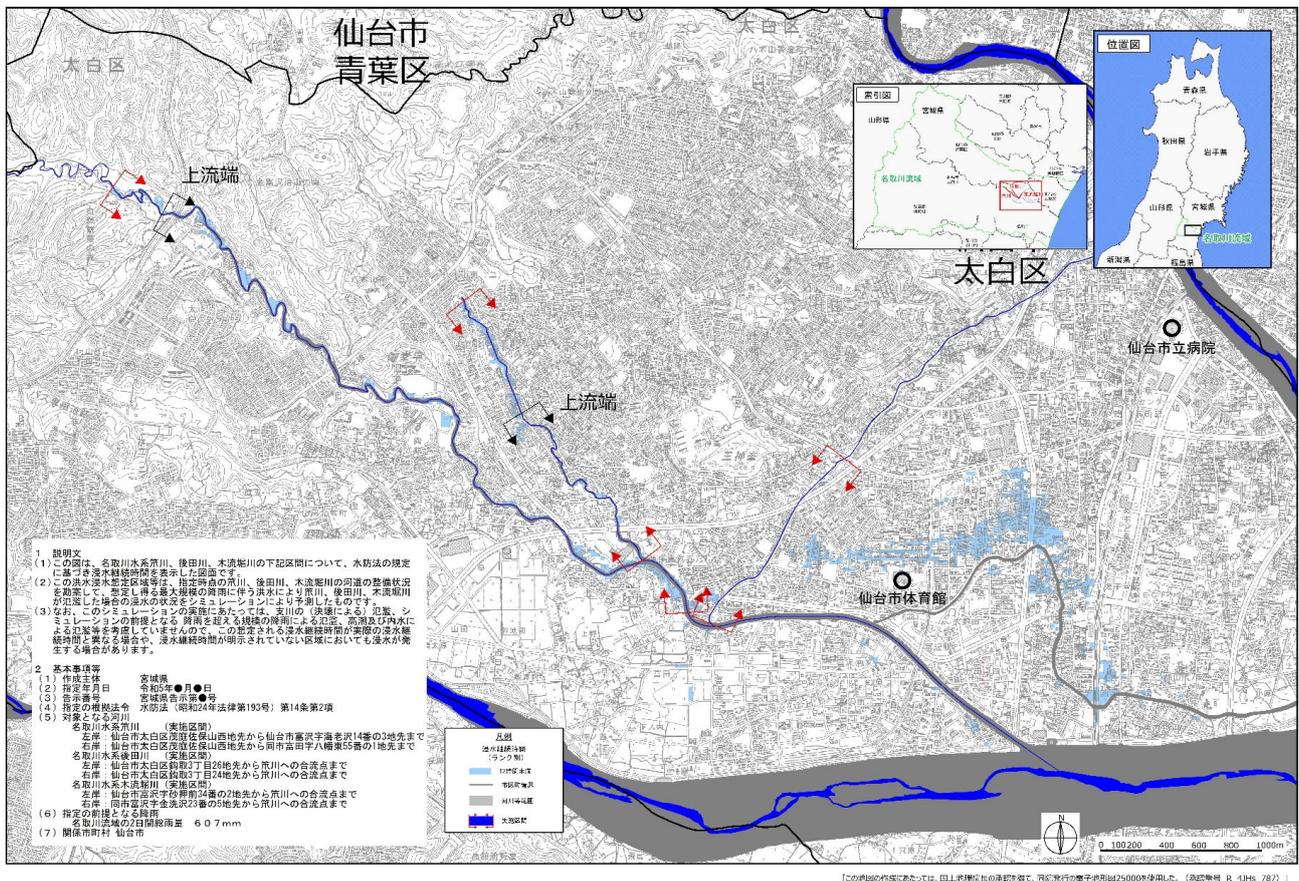


洪水浸水想定区域図の一例（一部追記）

名取川水系策川、後田川、木流堀川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



名取川水系策川、後田川、木流堀川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



詳細は宮城県HP参照

(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/sinnsou.html>)